



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 カルビー株式会社

コード番号 2229 URL <http://www.calbee.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊藤 秀二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務経理本部長 (氏名) 菊地 耕一 (TEL) 03-5220-6222

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	43,295	21.3	3,785	173.4	3,596	182.7	2,073	265.9
24年3月期第1四半期	35,690	△8.6	1,384	△50.0	1,271	△53.7	566	△64.8

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,825百万円( 223.5%) 24年3月期第1四半期 564百万円( △61.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	63.64	62.50
24年3月期第1四半期	17.71	17.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	107,217	81,034	73.0
24年3月期	108,474	80,417	71.6

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 78,285百万円 24年3月期 77,663百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	42.00	42.00
25年3月期	—				
25年3月期(予想)		0.00	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	85,300	12.3	6,600	69.5	6,400	82.9	3,650	105.9	111.95
通期	170,000	4.1	13,600	11.0	13,600	8.9	7,500	5.7	230.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期1Q	32,603,950株	24年3月期	32,540,950株
② 期末自己株式数	一株	24年3月期	一株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	32,579,076株	24年3月期1Q	31,999,230株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2 平成25年3月期の1株当たり当期純利益は、予定期中平均株式数32,603,950株により算出しております。

3 当社は、平成24年7月31日(火)に機関投資家・アナリスト向け電話会議を開催する予定です。この電話会議の音声情報については、開催後当社ホームページに掲載する予定であります。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や生産面で持ち直しの動きがみられたものの、世界的な景気減速懸念や円高の長期化、国内の電力供給問題などにより、依然として先行き不透明な状況にあります。

スナック菓子業界は、他の業界に比較して、値ごろな価格帯とボリューム感がお客様に評価され、堅調に推移しました。

このような環境にあつて、当社グループは、引き続き、イノベーション（成長戦略）とコスト・リダクションを経営の二本柱とする事業活動を推進しました。イノベーションでは、海外事業の拡大に向けた取組みとして、中国、台湾に康師傅(カンシーフ)グループとの合弁会社設立契約を締結しました。さらに、ポテトチップスの積極展開や新製品「ベジップス」の販売エリア拡大などにより、国内シェアを向上させることができました。コスト・リダクションでは、集中購買の推進や稼働率向上などにより製造原価率を低減させることができました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、43,295百万円（前年同四半期比21.3%増）となりました。利益面では、国内市場でのシェア拡大を図るため販売促進費を積極的に投下しましたが、売上拡大と製造原価率低減により、営業利益は3,785百万円（前年同四半期比173.4%増）、経常利益は3,596百万円（前年同四半期比182.7%増）、四半期純利益は2,073百万円（前年同四半期比265.9%増）となりました。売上高、利益ともに、東日本大震災の影響を受け低迷した前年同四半期と比較して大幅な増加となりました。

#### ・事業別の状況

##### (食品製造販売事業)

食品製造販売事業の売上高は、スナック菓子の売上高が好調で、42,629百万円（前年同四半期比21.1%増）となりました。

##### ・スナック菓子

スナック菓子の売上高は、36,833百万円（前年同四半期比20.9%増）となり、プロモーション活動を自粛した前年同四半期と比較して大幅な増加となりました。

##### ① ポテト系スナック

「ポテトチップス」は、定番品（うすしお味・コンソメパンチ・のりしお）の積極的なプロモーション活動や地域・期間限定品の発売などを行い、国内シェア拡大を図りました。また、「じゃがりこ」は、「たらこバター」の定番化（コンビニエンスストア限定）や期間限定品のヒットにより、売上拡大に貢献しました。「Jagabee」は、工場が被災しボックスタイプの出荷を一時停止した前年同四半期と比較して大幅な増加となりました。その結果、売上高は24,754百万円（前年同四半期比18.8%増）となりました。

##### ② 小麦系スナック

小麦系スナックの売上高は、5,053百万円（前年同四半期比39.1%増）となりました。前年同四半期は工場が被災し期間限定品の発売を一時休止した「かっぱえびせん」や「サッポロポテト」の売上が大きく増加しました。

##### ③ コーン系スナック

コーン系スナックの売上高は、3,458百万円（前年同四半期比3.9%減）となりました。「マイクポップコーン」や「リッチギザ」などの売上は伸長しましたが、震災特需のあった前年同四半期の売上を下回りました。

##### ・その他食品（ベーカリー、シリアル食品）

その他食品の売上高は、ベーカリー、シリアル食品ともに好調で、5,796百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。ベーカリーは、取扱店舗数の増加により、売上高は前年同四半期を上回りました。シリアル食品は、PR活動の強化とスーパーマーケットやドラッグストア等の導入率拡大により「フルグラ」の売上が大きく伸長し、売上高は前年同四半期を上回りました。

##### (その他)

その他事業の売上高は665百万円（前年同四半期比39.6%増）となりました。物流事業及び販売促進ツールの売上高は、ともに震災で需要が落ち込んだ前年同四半期を上回りました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ1,256百万円減少し107,217百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金は増加しましたが、受取手形及び売掛金と固定資産が減少したことによるものです。固定資産は減価償却費が取得額を上回ったことにより減少しました。

負債は、未払法人税等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,873百万円減少し、26,183百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ616百万円増加し、81,034百万円となりました。

この結果、自己資本比率は73.0%となり、前連結会計年度末に比べ1.4ポイント上昇しました。また、1株当たり純資産額は2,401円09銭となりました。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、1,467百万円増加し、20,916百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは4,062百万円の純収入(前年同四半期は14百万円の純収入)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益3,538百万円、減価償却費1,481百万円、売上債権の減少1,555百万円の資金の増加があったものの、法人税等の支払額3,696百万円の資金の減少があったことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは1,250百万円の純支出(前年同四半期は1,897百万円の純支出)となりました。この主な要因は、固定資産の取得による支出1,262百万円の資金の減少があったことによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,238百万円の純支出(前年同四半期は758百万円の純支出)となりました。この主な要因は、配当金の支払額1,399百万円の資金の減少があったことによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、第1四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成24年5月8日に発表した業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、通期の連結業績予想につきましては、平成24年5月8日に発表した業績予想を修正しておりません。

## 第2四半期(累計)連結業績予想値の修正 (平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	82,800	5,100	5,100	2,750	84.51
今回修正予想(B)	85,300	6,600	6,400	3,650	111.95
増減額(B-A)	2,500	1,500	1,300	900	—
増減率(%)	3.0	29.4	25.5	32.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	75,985	3,893	3,499	1,772	55.25

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,448	20,916
受取手形及び売掛金	18,763	17,127
有価証券	13	12
たな卸資産	4,920	5,368
その他	4,703	3,719
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	47,847	47,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,580	20,287
機械装置及び運搬具(純額)	14,052	13,487
土地	10,721	10,693
建設仮勘定	1,370	1,735
その他(純額)	816	809
有形固定資産合計	47,541	47,013
無形固定資産		
のれん	4,538	4,373
その他	1,534	1,502
無形固定資産合計	6,073	5,875
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,106	7,279
貸倒引当金	△93	△93
投資その他の資産合計	7,012	7,185
固定資産合計	60,627	60,074
資産合計	108,474	107,217

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,595	6,634
未払金	3,141	2,878
未払法人税等	3,885	1,603
賞与引当金	3,287	1,281
役員賞与引当金	211	66
災害損失引当金	57	57
その他	5,457	8,279
流動負債合計	22,636	20,799
固定負債		
長期借入金	6	6
退職給付引当金	3,611	3,647
役員退職慰労引当金	497	478
資産除去債務	623	625
その他	681	625
固定負債合計	5,420	5,383
負債合計	28,056	26,183
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,252	11,302
資本剰余金	10,820	10,870
利益剰余金	56,141	56,848
株主資本合計	78,213	79,022
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	3
為替換算調整勘定	△560	△740
その他の包括利益累計額合計	△550	△736
新株予約権	85	84
少数株主持分	2,669	2,665
純資産合計	80,417	81,034
負債純資産合計	108,474	107,217



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	35,690	43,295
売上原価	21,246	24,494
売上総利益	14,444	18,801
販売費及び一般管理費	13,059	15,015
営業利益	1,384	3,785
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	40	45
リース解約益	—	26
その他	128	54
営業外収益合計	170	131
営業外費用		
支払利息	1	1
為替差損	203	268
その他	77	51
営業外費用合計	283	321
経常利益	1,271	3,596
特別利益		
固定資産売却益	9	8
助成金受入益	230	—
災害損失引当金戻入額	128	—
その他	1	—
特別利益合計	370	8
特別損失		
固定資産売却損	27	49
固定資産除却損	21	16
災害による損失	252	—
その他	53	0
特別損失合計	355	65
税金等調整前四半期純利益	1,287	3,538
法人税、住民税及び事業税	855	1,471
法人税等調整額	△231	△57
法人税等合計	623	1,414
少数株主損益調整前四半期純利益	663	2,124
少数株主利益	97	50
四半期純利益	566	2,073

四半期連結包括利益計算書  
第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	663	2,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	△6
為替換算調整勘定	△120	△292
その他の包括利益合計	△99	△298
四半期包括利益	564	1,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	512	1,887
少数株主に係る四半期包括利益	51	△61

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,287	3,538
減価償却費	1,524	1,481
のれん償却額	137	150
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,871	△2,005
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△96	△145
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	77	39
前払年金費用の増減額 (△は増加)	35	29
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	37	△19
受取利息及び受取配当金	△42	△50
支払利息	1	1
為替差損益 (△は益)	180	246
助成金受入益	△230	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1	0
固定資産売却損益 (△は益)	17	41
固定資産除却損	21	16
災害損失	123	—
売上債権の増減額 (△は増加)	64	1,555
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,050	△472
仕入債務の増減額 (△は減少)	808	85
未収入金の増減額 (△は増加)	△6	△18
未払金の増減額 (△は減少)	△626	△228
未払費用の増減額 (△は減少)	2,252	2,591
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△194	60
その他	450	810
小計	2,902	7,707
利息及び配当金の受取額	47	52
利息の支払額	△2	△1
助成金の受取額	230	—
災害損失の支払額	△736	—
法人税等の支払額	△2,427	△3,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	14	4,062

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,062	△1,142
有形固定資産の売却による収入	56	64
無形固定資産の取得による支出	△62	△119
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	8	16
関係会社株式の取得による支出	△872	—
貸付けによる支出	△98	△195
貸付金の回収による収入	106	80
差入保証金の差入による支出	△39	△26
差入保証金の回収による収入	65	71
その他	5	3
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,897</b>	<b>△1,250</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	36	—
長期借入金の返済による支出	△89	—
ストックオプションの行使による収入	224	100
少数株主からの払込みによる収入	—	90
配当金の支払額	△893	△1,366
少数株主への配当金の支払額	△9	△33
リース債務の返済による支出	△26	△29
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△758</b>	<b>△1,238</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△61</b>	<b>△106</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,702	1,467
現金及び現金同等物の期首残高	18,238	19,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,536	20,916

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。